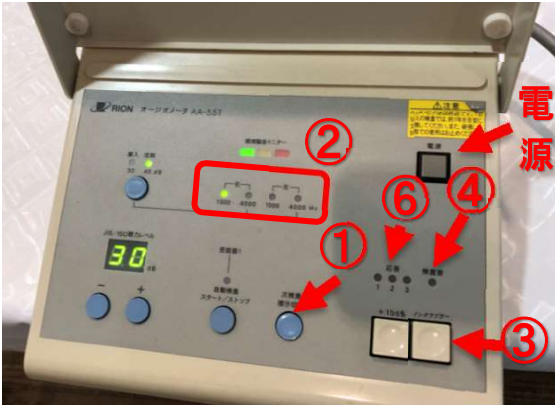


聴力計 検査方法



電源

<準備>

ヘッドホンを本体につなげる※凹凸に注意して挿し込む
聴力計のコンセントをさし、電源がはいることを確認する

ヘッドホンを装着し、検査音すべてが鳴るか確認

①のボタンで左右・音の高さを変更

⇒②に左右・音の高さ(1000Hz,4000Hz)の表示

③のボタンを押している間、音が出る(出ている間④点灯)

応答ボタン⑤が正常に作動するか確認

⇒押している間⑥が点灯



音の大きさは初期設定で企業用↓になってます

企業 1000Hz→30dB、4000Hz→40dB

(生徒 1000Hz→30dB、4000Hz→【25】dB)

※他のボタンを押してしまった場合も、電源入れ直して初期設定に戻ります

<検査方法>

1.受診者に左右それぞれ2種類の音が出ること、

音が聞こえている間は応答ボタンを押し続けることを説明

2.ヘッドホンを**赤側が右耳、青側が左耳**と正しく装着させる

ヘッドホンのプラスチック部分(透明部分)を引っ張ると、装着しやすいです

※音が聞こえにくい場合があるので、髪は耳にかけてもらう

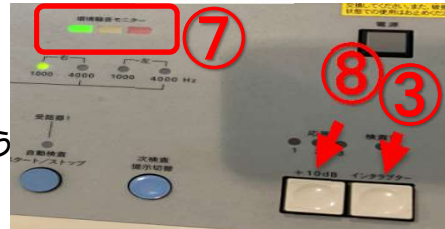
※メガネのままだと耳とヘッドホンの間に隙間ができるので、メガネは外してもらう

3.【次検査】①ボタンを押して、右の1000Hzに合わせる

【インタープター】③ボタンを押して検査音を出す(2、3秒)

※うるさい環境下では⑦モニターが赤ランプになります

その場合は③+⑧ボタンを押して+10dB(40dB)で検査を行なう



4.【次検査】①ボタンを押して、右の4000Hzの検査を行なう

5.同様に左耳1000、4000Hzの検査を行なう

応答があった箇所は、

受診票の【所見なし】にチェック

聴力	周波数	側	前回値		今回値		備考
			所見なし	所見あり	所見なし	所見あり	
1000Hz	右	前回値	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既知
		今回値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4000Hz	右	前回値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既知
		今回値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
1000Hz	左	前回値	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補聴器
		今回値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4000Hz	左	前回値	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補聴器
		今回値	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※応答が無い場合

ヘッドホンがきちんと装着できているか、

隙間ができていないか確認し、再度、該当の検査音を出し

「今、〇耳から音が出ていますが、聞こえづらいですか?」と確認しながら検査

やはり応答が無ければ、所見ありにチェック

⇒耳鼻科への通院歴を確認し通院歴があれば既知にチェック、無ければ確認にチェック

<注意>

1、所見ありの場合は、【確認】か【既知】のどちらかにチェックが必要

所見ありで通院経験がある場合や、難聴の申し出があった時は、【既知】にチェック

所見ありで通院経験が無い場合は、【確認】にチェック

2、補聴器を使用している場合は、補聴器にチェックし、補聴器側は検査しない

⇒所見ありで結果を出す旨を本人に伝える(所見あり・なしで結果を出さないといけないため)

<生徒の検査時注意>

プライバシー管理の観点から、複数名での同時検査の場合、

応答がなかった生徒だけ残しての再検査はしない